

群 教 セ	G14 - 01
	令5.284集
	総合的な学習 の時間-小

他者と関わりながら、自己の生き方を 考えられるキャリア教育の充実

——自己のよさや特徴を自覚し、
仕事をする上で必要な力を考える活動を通して——

特別研修員 岡田 悠亮

I 研究テーマ設定の理由

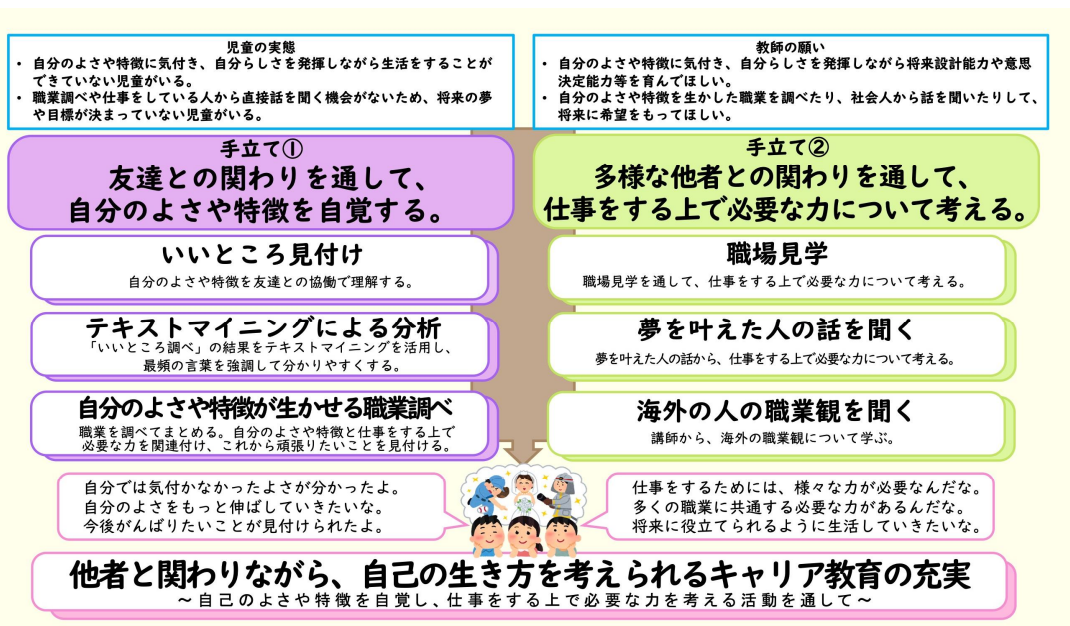
文部科学省編『小学校キャリア教育の手引き（2022年3月）』には「自分の将来のために学習を行う意識が国際的にみて低く、働くことへの不安を抱えたまま職業に就き、適応に難しさを感じている状況がある。また、身体的には成熟傾向が早まっているにも関わらず精神的・社会的自立が遅れる傾向があることや、勤労観・職業観の未熟さなど、発達上の課題も指摘されている。このような問題を背景としつつ、今日、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促すためのキャリア教育の推進・充実への期待が高まっている。」と示されており、キャリア教育の重要性が指摘されている。

研究協力校の児童は、将来の夢について聞いた際には、「ない」と答える児童が全体の21%、「〇〇関係の仕事がよい」と明確に将来の夢が決まっていなかった児童が21%だった。その原因として、日常生活の中で限られた職業しか関われないことや授業の中で多様な職業について知る機会がないことから、自己の生き方を考えることが難しいのではないかと考えた。また、自分のよさを自覚していなかったり、よさに対して自信をもてなかったりする児童が多く、自分らしさを発揮しながら生活ができている児童が少ないことも、将来への期待がもてない原因の一つであると考えた。

そこで、児童自身では気付かないような自分のよさを友達に教えてもらうことで、自分自身のよさや特徴を自覚できるようにする。そして、自覚したよさや特徴を基に、「職業調べ」「様々な職業の人との交流」「海外の人との交流」を通して様々な職業に必要な力を考えていくことで、これからの自己の生き方について考えられるようにしたいと考え、上記の主題を設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



2 授業改善に向けた手立て

本単元では、自己の生き方や将来の夢について考える。年度当初、児童に将来の夢を聞いた際、自分の家族やこれまで出会った人々との関係の中で知った限られた職業の中から選択している児童が多かった。厚生労働省が発行している『職業名索引（2022年12月）』には、18,725種類の職業名が示されている。本単元の学習を通して様々な職業について知ること、今まで以上に職業の選択肢が広がり、自分に合った将来の夢を見付けるきっかけになると考え、以下のような手立てを用いた。

手立て1 友達との関わりを通して、自分のよさや特徴を自覚する。

- ①【いいところ見付け】自分のよさや特徴を、友達との交流を通して理解する。5月と10月に2回行うことにより自己の変容を知ることができるようにする（図1）。
- ②【テキストマイニング】「いいところ見付け」の結果をテキストマイニングで分析することで、多く書かれている単語が大きく表示され、自分のよさや特徴を視覚的に捉えられるようにする（図2）。
- ③【自分のよさや特徴が生かせる職業調べ】自分のよさや特徴を生かすことができる職業を調べてまとめる。また、仕事をする上で必要な力を関連付け、今後高めたい力を考えられるようにする。



図1 いいところ見付け

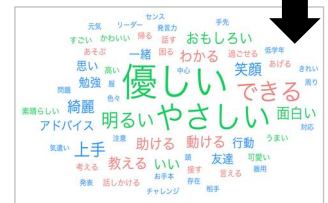


図2 テキストマイニング

手立て2 多様な他者との関わりを通して、仕事をする上で大切な力について考える。（職業調べを通して考えた必要な力が世の中に実際に存在するかを知るために、次の活動を行う。）

- ①【職場見学】職場見学を通して、仕事をする上で大切な力について学ぶ。
- ②【夢を叶えた人の話を聞く】夢を叶えた人の話から、成功や挫折、仕事をする上で大切な力について学ぶ。
- ③【海外の人の職業観を聞く】講師から、海外の職業観について学ぶ。

Ⅲ 研究のまとめ

1 成果

- 手立て1「いいところ見付け」の活動を5月と10月の2回実施した。この活動を通して、5月と比べた際の自分の変化や児童自身が気付いていないよさや特徴に気付くことができた。また、テキストマイニングで分析したことで、大きく表示されているものには自信をもち、小さく表示されているものは今後高めたい力と自覚することができたため、自分の成長への期待や意欲が高まった児童が多かった。
- 手立て1「職業調べ」では、単に職業を調べるだけでなく、自分のよさや特徴と関連させながらまとめたことで、今の自分との比較を行ったり、これからどのような力を付けていく必要があるのかを考えたりする児童が多く見られた。
- 手立て2の活動を通して、児童は1学期に学習した「必要な力」を、校外の方との話や事業所等での体験を通して実感することができ、今後高めたい力をより明確にすることができた。

2 課題

- 児童が選択した「必要な力」の根拠は、将来就きたい職業についてなのか今の自分の改善なのか不明確だったため、検討するには根拠を揃えた方がよい場合があった。
- 実際に児童が考えた「必要な力」を、総合的な学習の時間以外の場面でどのように高めていくのかをカリキュラム・マネジメントの視点から考えることで、児童が自己の成長を実感できるようになったのではないかと考える。

実践例

1 単元名 「夢への一步 ～自分に合った将来の夢やお仕事を見付けよう！～」

(第6学年・2学期)

2 本単元について

本単元では、他者との関わりから仕事をする上で「必要な力」について考える活動を通して、自分のよさや特徴と関連させながらこれからの自己の生き方について考えられることをねらいとしている。「職場見学」「夢を叶えた人から話を聞く」「海外の人の職業観を聞く」活動を通して、仕事の内容や必要な資格だけでなく、その仕事をする上で求められる力に視点を当てて考えていく。このような活動から、自分のよさや特徴を知った上で仕事を選択することで、職業を選択する指針になったり、楽しく満足して仕事ができたりするため、予測不可能な時代においても充実した人生を歩むことができるのではないかと考え、本単元を設定した。

以上のような考えから、本単元では以下のような指導計画を構想し実践した。

目標	① 将来の夢や職業について考えたり、実際に働いている人から学んだりする活動を通して、仕事をするために大切なことは何かを考え理解している。(知識及び技能) ② 仕事の魅力や仕事をする上で大切なことについて、情報を整理・分析し、意図や目的に応じてまとめ、説明することができる。(思考力、判断力、表現力等) ③ 仕事の魅力や仕事をする上で大切なことについて調べて伝える活動を通して、将来に希望を持ち、自分の目標に向かって進んで努力しようとする。(学びに向かう力、人間性等)	
評価規準	(1) 知識・技能 ① 多くの種類の仕事があることを理解するとともに、実際に仕事をしている人に話を聞くことを通して、仕事をする上で必要な力などに気付いている。 ② 仕事に関わる調査活動を、パソコンや本、実地調査やインタビューを効果的に用いて実施している。 ③ 職業の種類や内容、働く人の思い等への理解の高まりは、職業について探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。 (2) 思考・判断・表現 ① 職業調べや働くことを考える活動を通して関心のある課題を設定するとともに、解決の方法を考えている。 ② 職業調べや働くことを考える活動に必要な情報を、調査する対象に応じた方法を選びながら収集・蓄積している。 ③ 職業調べや働くことに向けて、事象を比較したり関連付けたりして理由や根拠を明らかにし、情報を整理・分析している。 ④ 職業調べや働くことに向けた自分の考えを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。 (3) 主体的に学習に取り組む態度 ① 職業調べや働くことの意義を明らかにするという目的に向け、他者の考えを認めたり、自分のよさや特徴に気付いたりしながら、学習活動に進んで取り組もうとしている。 ② 探究的に活動を進める中で、自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ③ 将来の夢と今の自分とのつながりに気づき、今の自分にできることを見付けて行動しようとしている。	
過程	時間	主な学習活動
つかむ	第1～5時	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や希望について考え、知っている職業を出し合い、単元のゴールを共有する。 ・自分では気が付かない「自分のよさ」を知るために「いいところ見付け」を行う。
追究する	第6～23時	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題の設定】どのような職業があるだろうかという課題意識をもつ。自分のよさ(友達に教えてもらった自分も気が付かなかったよさも含め)を生かすことができる職業には何があるのかを考える。 ・【情報の収集】自分のよさを生かすような職業を見付ける。自分になりたい職業を一つ選び、仕事内容や特徴等を調べる。 ・【整理・分析】自分がなりたい仕事と他の仕事に共通する「必要な力」があるのかを考える。「必要な力」は一つではなく、複数列挙する。 ・【まとめ・表現】仕事をする上で「必要な力」についてまとめる。他の仕事との共通点や追加したいことを書く。
1学期の実践 (第1時～第23時) いいところ見付け テキストマイニング 職業調べ		

<p>第24～52時</p> <p>2学期の実践 (第24時～第54時)</p> <p>職場見学 夢を叶えた人の話を聞く 海外の人の職業観を聞く 発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【課題の設定】仕事をする上で大切なことを知るためには、どのような方法で調べたらよいかという課題意識をもつ。 ・【情報の収集】職場体験や外部講師に話を聞く中で、仕事をする上で大切なことを見付ける。 職場見学：学校周辺の事業所に行く。 外部講師：講演をしてくださる方 ・【整理・分析】働いている人が考える「仕事をする上で必要な力」から、自分自身に必要な力や、他の仕事にも生かせるところがあるかを考える。 ・【まとめ・表現】仕事をする上で「必要な力」についてまとめ発信する。4月や9月の自分と比較し、自分を見つめ直す。
<p>まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の振り返りとして、考え方が変わったことや成果をまとめる。 ・4月に比べて、仕事に対する意識が変化したのかを考える。

3 本時及び具体化した手立てについて

本時は全54時間計画の第42時に当たる。2学期は「職場見学」「夢を叶えた人の話を聞く」「海外の人の職業観を聞く」の三つの活動を行い、前時には三つの活動を通して仕事をする上で必要な力について考えた。本時では、前時に考えた力と自分のよさや特徴とを関連させながら、これから「必要な力」について考えることが授業のねらいである。この活動をよりよいものとするために、以下のような手立てを設定した。

手立て1 友達との関わりを通して、自分のよさや特徴を自覚する。

10月に行った2回目のいいところ見付けの結果（テキストマイニングで分析したもの）や職業調べ等を根拠に本時のめあてについて考えられるようにする。前時までに、1回目と2回目のテキストマイニングでの分析を比較する授業を行い、10月までに増えた自分のよさや特徴を見付けたり、他の児童に伝え合う活動をしたりする。

手立て2 多様な他者との関わりを通して、仕事をする上で大切な力について考える。

2学期に行った「職場見学」「夢を叶えた人の話を聞く」「海外の人の職業観を聞く」の三つの活動を通して考えた。仕事をする上で「必要な力」を、自分のよさや特徴と関連させて考えることで、自分の成長のためにこれから「必要な力」について考え、自覚できるようにする。

4 授業の実際

(1) 本時のめあてをつかむ。

前時では、「職場見学」「夢を叶えた人の話を聞く」「海外の人の職業観を聞く」の三つの活動から、仕事をする上で「必要な力」は何かを考えた。他の児童が書いたことを共有するために、書いたものをグループで伝え合う活動を行った。他の児童が考えた「必要な力」やそれを選んだ理由について伝え合うことで、自分自身が選んだ理由を再考したり、説明を聞いて納得したものを自分の考えとして取り入れたりする様子が見られた（図3）。



図3 自分が考える「必要な力」について伝え合う場面

(2) 自分よさや特徴や職業調べと関連させながら、「これから必要な力」について考える。

「(1)で考えた必要な力」「2回目のテキストマイニング」「職業調べ」を参照しながら、自分にとってこれから「必要な力」について考えた。まず、(1)のシートに自分がこれから必要だと思う力を考えて、その力に丸を付けた（図4）。そして、その力を選んだ理由をペアで伝え合った。その後、これから「必要な力」と理由をシートに記入した。ペアで交流した際に、理由を伝え合うために、テキストマイニング等を根拠として活用している児童が多く見られた。

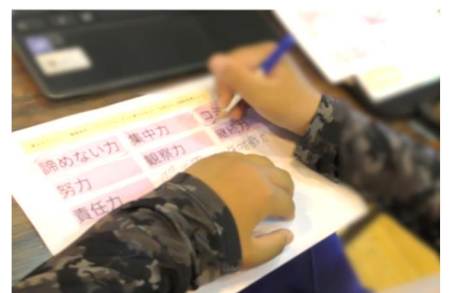


図4 どの力が必要かを選択する場面

(3) 「これから必要な力」と選んだ理由を他の児童に伝える。

自分が選んだ「必要な力」とその理由を伝え合う活動を行った。その際、他の児童が言ったことに対して「確かに」と共感する言葉を言ったり、他の児童が説明している際に「テキストマイニングのこの部分に書かれているよね？」とアドバイスをしたりする児童が見られた(図5)。提出されたものを見ると、「テキストマイニングのコミュカの言葉が小さかったので、もっと磨いていきたいと思いコミュカを選んだ。」など根拠と共に記入している児童が多かった(図6)。



図5 「必要な力」と理由を伝え合う場面

(4) 学習を振り返る。

記述したシートを基に振り返りを行った(図7)。また、それぞれが考える必要な力を集約し、テキストマイニングしたものを提示した(図8)。この図から、「コミュカ」「精神力」「集中力」などを必要な力として挙げている児童が多かったことが分かる。今後は、これらの力を実生活の中でどのように伸ばしていけるかを共に考えていきたい。

児童	これから必要な力	理由
児童A	コミュカ	<ul style="list-style-type: none"> 一人で誰とも絶対に関わらない仕事以外はコミュカが必要だし、人と関わるときに必要なから。 テキストマイニングのコミュカの言葉が小さかったのでもっと磨いていきたいと思い、このコミュカを選んだ。
児童B	忍耐力	<ul style="list-style-type: none"> テキストマイニングで、声に関する事や人をまとめる力があることは分かったけど、そのためには忍耐力をみがいて本番などにも全力で挑めるようにしたいから。 職業調べの紙を見ると、大切な力の中に忍耐力やメンタル力がありもっと全力を出せるようにするために書いた。
児童C	コミュカ	<ul style="list-style-type: none"> 話すことや、分かりやすく発表することが苦手だから。 テキストマイニングで「説明がわかりやすい」と書いてある文字が、小さかったから。 テキストマイニングで「コミュカ」と書かれていたけど、
	言語力	<ul style="list-style-type: none"> 英語が苦手だから。 自分がなりたい将来の夢では、英語を使うし、テキストマイニングでは「勉強」が大きく書かれていたから。

図6 児童から提出された「これから必要な力」

【振り返り】

- 仕事をする上で必要な力と、いいところ探しの紙を見比べてみて、言語力をもっと伸ばせると思ったので、毎日の自主勉強や、英語の時間のスピーチなどで言語力を伸ばそうと思った。もう一つ、コミュカが伸ばせると思ったので、読書時間を増やしたり、人と話す時間を増やしたりして、コミュカを伸ばしていきたい。
- 自分の力を更に伸ばしていきたい、将来の夢に繋がるようにしていきたいと思った。将来の仕事と今の自分を比べて見て、足りない力があつたり、仕事に必要なでも自分にはない力があるのを知ることができてよかった。
- 今日は、自分にとって一番必要なのは、責任力だとわかったので、これからは、責任力を意識して生活していきたいです。
- 自分が必要だと思った力を、中学校や高校に行ったときに自分から話しかけたり、話しかけられたら答えたりして、身につけていきたいと思った。

図7 児童の振り返り

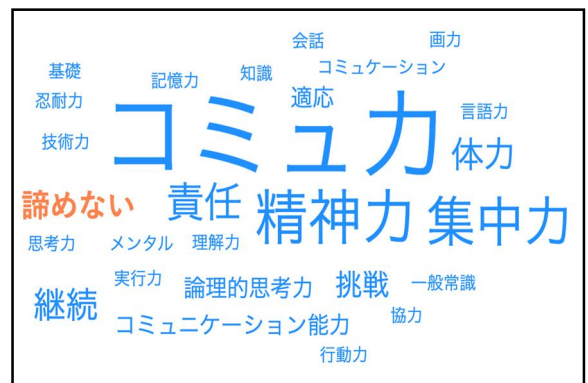


図8 児童が考えた「必要な力」をテキストマイニングしたもの

5 考察

2回の「いいところ見付け」の結果をテキストマイニングで示したことで、児童は自分自身の成長や今まで気付かなかった自分のよさに気付くことができた。これから「必要な力」を考える際にも、テキストマイニングを基に、今の自分自身のよさや特徴と関連付けながらこれから「必要な力」を考える姿が見られた。以上のことから、自分のよさをテキストマイニングで可視化したことは本単元の学習を通して有効に働いたと考えられる。また、学級の友達だけでなく多様な他者と関わったことで、児童自身がこれから身に付けていきたい力を明確にし、具体的にもつことにつながった。一人一人が考えたこれから必要な力をグループで伝え合う際には、友達の考えから新たな気づきを得たり、友達に話すことで考えが明確になったりする姿が見られた。このように、本単元の学習を通して、他者と関わりながら自己の生き方について考えることができたと考えられる。

本実践を通して、自分自身のよさや特徴をテキストマイニングで視覚的に表したことで、自身の成長や自分では気付かないよさに気付いていく姿が見られた。

キャリア教育通信 1学期

発行者：岡田悠亮
(高校5年度 特別指導員)

自分のよさや特徴を活かした職業ってなんだろ？

職業調べの際に児童に書かせたものは、次の6つです。

- ① 自分のよさ (特徴)
- ② 職業名
- ③ やりたい理由
- ④ どうすれば、なれるのか。
- ⑤ 仕事内容
- ⑥ 夢を叶えるために、これからがんばりたいこと。



これらについて、シートにまとめました。

縦字脱字や分かりにくい表現がないか確認するため、まとめたものを印刷し、子ども同士で見合いました。

修正点を紙に書いて渡している子もいれば、その場で指摘されて直している子もいました。

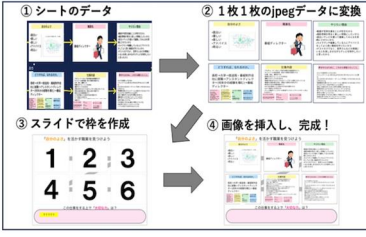
さて、どのようにまとめようかなと考えた結果、シートのデータを画像データにし、スライドに貼り付けるという方法にしました。

自分のよさや特徴を活かす職業調べをする中で、「今の自分には何が足りないんだろ？」

「これから何をしようか？」と考えることは、大事ですね。

そのため、項目⑥「夢を叶えるために、これから頑張りたいこと」を書きました。

仕事について調べるだけで終わらないことも、ポイントの1つです！！



夢を叶えるために、これから頑張りたいこと。

- ・プログラミング言語を覚える。
- ・例のゲームで色々なミニゲームを作ったりして、友達にやってもらう。
- ・他人が作ったものをやってみて、どうなっているか調べる。
- ・失敗してもいいから、小さなものでも作ってみる。
- ・忍耐力を鍛える。(冷静に考える、頑張りすぎない、常に体調を万全にする、ポジティブに考える)
- ・例のゲームの中でプログラミングを組み合わせて新しいギミックを作る。
- ・友達に作って欲しいものを聞いて、それに沿ったものを作る。(本番に近い環境にする)
- ・英語や数学など必要な勉強を得意にする。

夢を叶えるために、これから頑張りたいこと。

- ・薬剤師は接客があり、私は、人と話すことが苦手なので、人とたくさん話すようにする。
- ・薬剤師は全ての教科ができていほうがいいので、自分が苦手な英語を家庭学習ノートに単語を書いたり、何回も英語を言ったりしてうまくできるようにする。
- ・薬剤師は何万もの薬を暗記するそうなので、自分も暗記力が高まるように、暗算したり、1度やったことを何度も繰り返して暗記力をつけていきたい。
- ・集中力を高めるために、宿題をやるときに騒がしい部屋でやってみようとする。

キャリア教育通信 1学期

発行者：岡田悠亮
(高校5年度 特別指導員)

仕事をする上で大切な力は何か？

特別研修の第1回目の実践授業の内容を紹介します。職業調べをし、これから頑張りたいことまで考えました。しかし、もう一歩！

夢は、変わらないかもしれない、変わるかもしれない。だからこそ『仕事をする上で『大切な力』について考えることが必要です。

まず「自分がなりたい仕事に、大切な力は何か。」を考えました。

その後、友達にアドバイスをしてもらい、さらに「大切な力」を増やしたり、吟味したりしました。

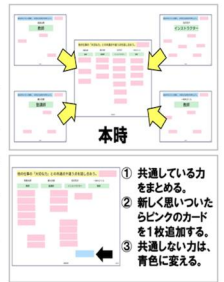
さて、この「大切な力」は、同じような職業の場合は似ているのでしょうか？

まず、児童の将来就きたい職業を、似ている職種ごとにまとめました。

どうしても分類できない場合は、別の業種に入れました。

その後、他の仕事の「大切な力」との共通点や相違点を話し合いました。

そして、授業前に自分が大切だと思った力を見直し、必要に応じて追加する活動を行いました。



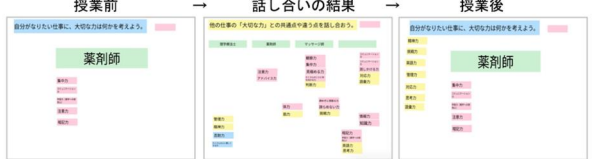
話し合いをする中で、様々な気づきが生れました。

- ・違う仕事でも大切な力は、同じものがあることがわかった。自分の職業に生かしていきたい。
- ・他の仕事なのに「大切な力」に共通点がたくさんあった。今度は、全然違う仕事との間に「大切な力」の共通点があるかを調べたい。
- ・違う仕事同士だけど、「大切な力」にはいろいろあってびっくりした。他の班の大切な力を見た時に、全く違う職業でも共通しているものや、自分で思い浮かばなかったものがあった。
- ・全く違う職業でも「大切な力」は同じものがあるってびっくりした。自分では思いつかなくても、他の人たちのものを見て納得した。納得したので追加することができた。

仕事は違っても、共通する力がある。

単に友達が言っていたから追加するのではなく、納得した上で追加する。

しっかり考えています！！

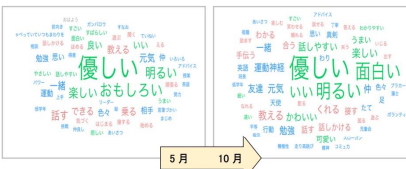


キャリア教育通信 2学期

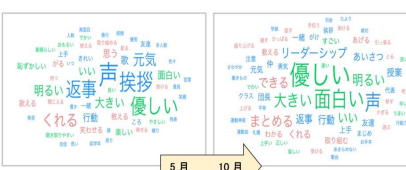
発行者：岡田悠亮
(高校5年度 特別指導員)

変化があったかな？2回目のいいところ見付けをやろう！

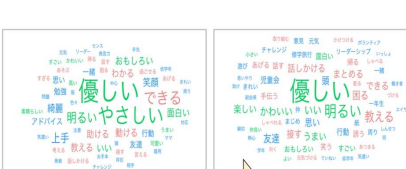
5月上旬に1回目の「いいところ見付け」を行いました。あれから5ヶ月。教室では、様々なことがありました。児童も成長し、何か変化があったかもしれません。そこで、2回目の「いいところ見付け」を行いました。やはり5ヶ月で変化がありました。自分では気が付かない変化を、友達はわかっています。自分自身では、なかなか気が付くことが出来ません。そういった意味でも、この「いいところ見付け」は素晴らしい実践だと思えます。



- ・一緒にいて楽しいと言う意見が増えて嬉しかった。
- ・話しやすいという意見があって、これからはもっと話しやすいように意識しようとおもった。
- ・走り高跳びなどの自分が頑張っていることに気づいてくれてもらったと思った。
- ・みんなと仲良くしているという意見に意外だなと思った。
- ・コミュニケーションという意見に自分が見知りな意見だなと思った。
- ・楽しませてくれるという意見に自分にも楽しませる力があるんだなと意外に思った。



- ・「元気」という言葉がすごく意外に驚いたが、嬉しかった。
- ・全体的に前と同じ、「声が大さく」や「優しい」という言葉だけではなく、前と違い「楽しい」や「面白い」が増えたのが嬉しかった。
- ・全体的にいいところが多かったが、2つの人を見たのでその人にも、もっと多くのいいところを見つけてもらえるように、頑張る。
- ・「決意ができる」という言葉が意外だったし、どうしてそう思ったか、聞きたい。
- ・「褒められる」という言葉は、自分が心がけていたところだったので嬉しかった。



- ・自分が思った以上にみんなが自分のことを覚えてくれていて、嬉しかったです。
- ・「人の心に響いてほしい」という言葉が意外に驚いた。
- ・「夢を実現する」という言葉は、意見を言った結果として実現しているという具体的な言葉があるのが、どの瞬間でもそう思ってもらえたのが嬉しかった。その瞬間にまた新たな自分のいいところや強みがあるように思えることが嬉しかった。
- ・思いもつかなかったようなことを思い出して嬉しかった。
- ・「明るい」や「よく喋っている」と書いていて、嬉しい気持ちになった。
- ・いいところ見付けは楽しくなれる言葉がたくさん書いてあるので、嬉しい気持ちになれると思った。

キャリア教育通信 2学期

発行者：岡田悠亮
(高校5年度 特別指導員)

「夢を叶えた人」は、どのような力が必要だろうか。

本校の卒業生でもある女優とピアニストの方に来ていただきました。



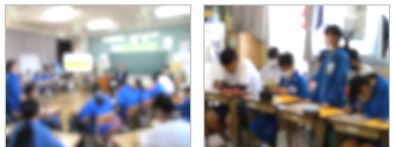
「実際の職場」では、どのような力が必要だろうか。

研究協力校の近くの事業所で職場見学をさせていただきました。



海外で活躍するためには、どのような力が必要だろうか。

講師(元スポーツ選手)に海外の職業観についてお話を聞くことにしました。



どんな「まとめ・発信」の方法があるかを考え、選択する。

まずは、どんな発信方法があるかを調べました。次に「誰に」「何のために」「どんなことを伝えたいか」「それを一番表現できる発信方法は何か」を考え、自分自身の「まとめ・発信」方法を考えました。思いや作りたいものが共通しているのでグループで取組みたいというところもありました。

「全校児童」に向けて発信する人もいれば、「職場見学」や「ゲストティーチャーで来てくださった方」など発信したい相手になりました。全員が同じ相手に発信するのではなく、発信する相手も違っていいと思いました。

発信方法	メンバー
ゲーム制作	グループ (1)
クイズスタンプラリー	グループ (1)
リーフレット	個人 (2)、グループ (1)
新聞	個人 (3)、グループ (1)
ホームページ	グループ (1)
動画	個人 (1)
ポスター	グループ (1)
パンフレット	個人 (3)
通信	個人 (1)